

黒部で第九を歌う会が誕生して四半世紀

第13回 名水の里

第九コンサート



今新たな挑戦!

ブラームスの大曲「ドイツ・レクイエム」を歌う (県内初演)



2018 **4/22** 日 13:30開場
14:00開演

会場/黒部市国際文化センター
コラーレ (カーターホール)

チケット/全席自由 2,500円
(当日 3,000円)

- 【第1部】
- 曲目: ブラームス: ドイツ・レクイエム (第1、4、7曲)
 - 指揮: 横島 勝人
 - 管弦楽: 富山シティフィルハーモニー管弦楽団
 - 合唱: 黒部で第九を歌う会合唱団
- 【第2部】
- 曲目: ベートーヴェン: 交響曲第九番 二短調 作品125「合唱付」
 - 指揮: 横島 勝人
 - ソリスト: 平井 香織 (ソプラノ)、山下 牧子 (メゾソプラノ)
澤武 紀行 (テノール)、与那城 敬 (バリトン)
 - 管弦楽: 富山シティフィルハーモニー管弦楽団
 - 合唱: 黒部で第九を歌う会合唱団

↑プレイガイド

コラーレ/アーツナビ/黒部メルシー
魚津サンプラザ/入善コスモホール
コスモ21

↑お問い合わせ

●コラーレ Tel (0765) 57-1201

主催/黒部で第九を歌う会・(株)北日本新聞社・北日本放送(株)・(公財)黒部市国際文化センター
共催/黒部市 後援/黒部市教育委員会・黒部市芸術文化協会・黒部ライオンズクラブ・黒部ロータリークラブ・黒部中央ロータリークラブ



指揮 横島 勝人 *Katsuto Yokoshima*

Photo: Shigeto Imura

大阪・高槻市出身。大阪音楽大学在学中より、高槻市音楽団などで指揮活動を展開し、1990年から7年間、ウィーンへ留学。98年にキリル・コンドラシン国際指揮者コンクールでベスト8に選ばれ、99年、ウィーン楽友協会ホールでのトーンキェンストラ交響楽団との演奏会において、ベートーヴェン交響曲第9番を指揮してウィーンデビュー。2000年より小澤征爾音楽塾オペラプロジェクトI、II、III、でアシスタント及び合唱指揮を務める。06年には、ウィーンとプラハでモーツァルト生誕250年「レクイエム・ガラ」特別演奏会でタクトを振り絶賛を博した。09年、11年、15年、ベルリン、プラハ、ローマの「国境なき合唱団&ベルリン・シンフォニエッタ」チャリティー公演等でベートーヴェン「第九」を指揮している。ダイナミックさと繊細さを併せ持つ横島の指揮は、聴く者を、音楽そのものが持つ深い感動へと導く。温厚な人柄と情熱的かつ的確な指示によって、奏者の力量を引き出し、やがて聴衆と渾然一体化するその音楽は、多くの奏者・聴衆から熱い支持を得ている。08年には、松本市で「モーツァルト交響曲・全曲演奏会」の芸術監督に就任。15年、温泉地・宇奈月の「湯の街ふれあい音楽祭モーツァルト@宇奈月」の芸術監督に就任。理想は、ウィーンのように、地域全体が音楽を支え、楽しむ場となること。また、若手を含む音楽家の自立および団結を目的とする組織を立ち上げ、活動を展開中である。

文/高橋彩子



ソプラノ 平井 香織 *Kaori Hirai*

国立音楽大学卒業。同大学院修了。二期会オペラスタジオ修了。「奥様女中」のセルビーナでオペラデビュー。以後「魔笛」夜の女王、「フィガロの結婚」伯爵夫人、「カルメル会修道女の対話」ブランシュ、「カルメン」ミカエラ、「夕鶴」つう等を演じる。殊に新国立劇場公演には数多く参加しており、「ラインの黄金」「ワルキューレ」「神々の黄昏」「ジークフリートの冒険」「トスカ」「なりゆき泥棒」「カルメン」「こうもり」「エレクトラ」「影のない女」「ピーター・グライムズ」「死の都」など、信頼も厚い。そのほか、小澤征爾指揮「ファウストの劫罰」(ペルリオーズ)、大野和士指揮「メシ・メシ」(ヒンデミット)、ダン・エッティンガー指揮「復活」(マラー)、準・メルクル指揮「ヴィーナスとアドニス」(ヘンツェ)、シャルル・デュトワ指揮「エレクトラ」(R.シュトラウス)等で好演。近年では15年J.メルクル指揮「ダナエの愛」クサンテ、16年C.デュトワ指揮「カルメン」フラスキータ、17年P.インキネン指揮「ラインの黄金」ヴェルグンデに出演する活躍を見ている。またコンサートソリストとしては「レクイエム」「グロリア」「メサイア」「第九」「ミサ・ソレムニス」「カルミナ・ブラーナ」「ドイツ・レクイエム」等多数出演、いずれも高い評価を得ている。第56回NHKニューイヤーオペラコンサートに出演。
国立音楽大学講師。二期会オペラ研究所講師。東京二期会会員。



テノール 澤武 紀行 *Noriyuki Sawabu*

射水市(旧新湊市)出身。桐朋学園大学音楽学部演奏学科声楽専攻首席で卒業。同大学研究科修了。
国際ロータリー財団親善奨学生に抜擢され、オーストリア・ザルツブルグ・モーツァルトウム音楽院、ザルツブルグ大学人文学部音楽学専攻に留学、ブルックナー音楽院オペラ科卒業。モーツァルト作曲、歌劇「後宮からの逃走」の主役ベルモンテでヨーロッパオペラデビュー後、ベルリン国立歌劇場、ルーマニア国立歌劇場、ブラウンシュヴァイク国立歌劇場、リンツ州立歌劇場、メックレンブルク・フォアポンメルン州立劇場(テノールソリスト専属歌手契約)等、ヨーロッパ各国で演奏活動を精力的に行なっている。
また作曲家・編曲家としても活動をしており、特に「歌曲」の作曲・編曲は各方面から高い評価を得ている。地元富山では年数回の演奏会をはじめ、射水市立新湊中学校校歌や同校生徒会讃歌の作曲や、トークショー形式の講演など、クラシックだけにとらわれないジャンルを超えたユニークな演奏活動も展開している。
2015年「第35回全国豊かな海づくり大会富山大会」、2017年「第68回全国植樹祭」において、天皇皇后両陛下のご臨席のもと、大作家の歌に自ら作曲した歌曲の御前演奏を務める。「第32回やま賞」「平成27年度射水市市政功労賞」「2015年度北日本新聞芸術選奨」受賞。「友愛ドイツ歌曲コンクール」入賞。
国際ロータリー財団2610地区新湊ロータリークラブ名誉会員。「ヴォーカルアンサンブルSAKURA Berlin」常任指揮者兼ヴォーカルコーチ、二期会会員。現在、ドイツ・ベルリン在住。



メゾソプラノ 山下 牧子 *Makiko Yamashita*

香川県出身。広島大学教育学部を経て東京藝術大学大学院。二期会オペラスタジオマスタークラス修了、優秀賞受賞。第1回東京音楽コンクール声楽部門第1位。第72回、第73回日本音楽コンクール共に第3位入賞。97年藝大定期・モーツァルト「皇帝ティートの慈悲」アンニオでオペラデビュー。「蝶々夫人」スズキ、「椿姫」フローラ、「フィガロの結婚」ケルビーノ、「こうもり」オルロフスキー等で注目を集める。05年6月二期会「椿姫」フローラ、10月二期会ニューウェーブオペラ「ジュリアス・シーザー」タイトル・ロールでは絶賛を浴びる。07年「コシ・ファン・トゥッテ」(宮本雅門演出・新制作、文化庁芸術祭大賞受賞)では魅力的なドラベッラ。10年日生劇場「カルメン」(日本語版)タイトル・ロール、16年9月東京二期会・ライブツィヒ歌劇場との提携公演「トリスタンとイゾルデ」(ヴィリー・デッカー演出)ブラングーネ。コンサートでは、ベートーヴェン「第九」やバッハ「ロ短調ミサ」、ヘンデル「メサイア」、ヴィヴァルディ「グロリア」、モーツァルト「レクイエム」、デュルフレ「レクイエム」、ヴェルディ「レクイエム」、マラー「復活」等のアルトソロとして国内主要オーケストラとも多数共演。13年、ジョン・ミョンファン指揮のロシアニ「スターバト・マーテル」でNHK交響楽団とも初共演、12月31日大晦日恒例のクラシックコンサート「ベートーヴェンは凄い!」全交響曲連続演奏会「第九」アルトソロ、NHKニューイヤーオペラコンサート、テレビ朝日「なんでも!クラシック」等々に出演。二期会会員。



バリトン 与那城 敬 *Kei Yonashiro*

Photo: Kei UESUGI

兵庫県立西宮高校音楽科、桐朋学園大学音楽学部ピアノ専攻卒業。同大学研究科声楽専攻修了。新国立劇場オペラ研究所第5期修了。平成17年度文化庁派遣芸術家在外研修員としてミラノへ留学。第16回マリオ・デル・モナコ国際音楽コンクール第3位(1位なし)入賞。第18回楽聖堂日本歌曲コンクール第1位。06年東京二期会「コシ・ファン・トゥッテ」(芸術大賞受賞)グリエルモで二期会デビュー。その後も小澤征爾特別コンサート「カルメン」エスカミリオ、「道化師」(読響)シルヴィオ等で高い評価を得る。東京二期会「エウゲニー・オネーギン」オネーギン、トヨタコミュニティコンサート「ラ・ボエーム」マルチェロ、09年2月、横須賀芸術劇場オペラ「ダイドー・ヒニーアス」イニーアス、10年「NHKニューイヤーオペラコンサート」、新国立劇場オペラでも「愛の妙薬」ベルコレ、「鹿鳴館」影山悠敏伯爵、「道化師」シルヴィオ等に出演。最近では北とびあ国際音楽祭「ドン・ジョヴァンニ」(三菱UFJ信託音楽奨励賞)タイトル・ロールで出演し公演を成功に導く。08/09年バッハ・コレギウム・ジャパンのメンバー及びソリストとして国内外の公演に参加。バッハ「マタイ受難曲」、ヘンデル「メサイア」、フォーレ「レクイエム」、マラー「大地の歌」、ベートーヴェン「第九」(読響)等で活躍。2013年3月ファーストアルバム「FIRST IMPRESSION」をリリース。二期会会員。

黒部で第九を歌う会が誕生して四半世紀

第13回 名水の里

第九コンサート



黒部で第九を歌う会

今新たな挑戦！

ブラームスの大曲

「ドイツ・レクイエム」を歌う
(県内初演)



黒部の第九
25周年記念コンサート

Kurobe
Symphony No. 9

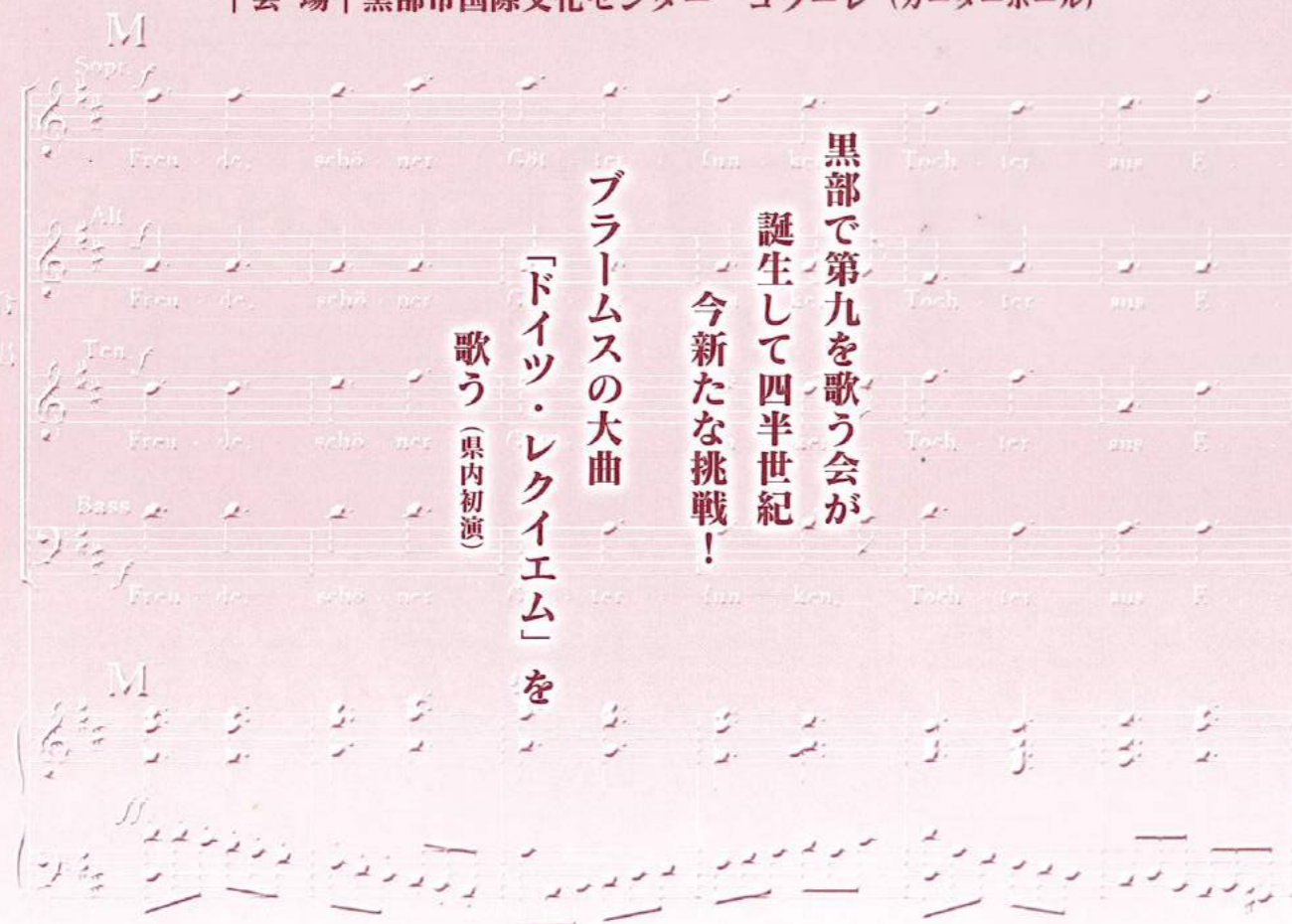
【主催】黒部で第九を歌う会・(株)北日本新聞社・北日本放送(株)・(公財)黒部市国際文化センター 【共催】黒部市
【後援】黒部市教育委員会・黒部市芸術文化協会・黒部ライオンズクラブ・黒部ロータリークラブ・黒部中央ロータリークラブ
黒部で第九を歌う会事務局 黒部市三日市20 黒部市国際文化センター コラーレ内 Tel.0765-57-1201

Symphony No. 9

第13回 名水の里 第九コンサート

2018.4.22 SUN

| 会場 | 黒部市国際文化センター コラーレ (カーターホール)



Program

♪第1部

曲 目 **ブラームス：ドイツ・レクイエム (第1、4、7曲)**

指 揮 横島 勝人

管 弦 楽 富山シティフィルハーモニー管弦楽団

合 唱 黒部で第九を歌う会合唱団

♪第2部

曲 目 **ベートーヴェン：交響曲第九番 二短調 作品125「合唱付」**

指 揮 横島 勝人

ソリスト 平井 香織 (ソプラノ)、山下 牧子 (メゾソプラノ)

澤武 紀行 (テノール)、与那城 敬 (バリトン)

管 弦 楽 富山シティフィルハーモニー管弦楽団

合 唱 黒部で第九を歌う会合唱団



黒部市長

堀内 康男

お祝いのことば

黒部で第九を歌う会の「第13回名水の里 第九コンサート」が、ここ黒部市で盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。また、平素から本市の芸術文化活動推進にご尽力を賜っておりますことに対しまして、厚くお礼申し上げます。

さて黒部で第九を歌う会は、地域の活性化、クラシック音楽の愛好家の交流活性化、地域文化活動への貢献を願いとして、平成4年に設立され、翌年5月に開催されました第1回のコンサートを皮切りに、これまで12回の公演を開催してこられました。

前回のコンサートにおいては、北陸新幹線開業記念及び黒部・根室姉妹都市交流事業として、第1部では、姉妹都市である根室市よりオーケストラ・合唱団をお招きし、根室の「第九」とも言われる交響組曲「北国讃歌」を、第2部では、黒部で第九を歌う会によるベートーヴェン「交響曲第九番 (合唱付)」をご披露され、合唱団員とオーケストラが一体となり会場内に響き渡る合唱は、鑑賞者の心に大きな感動を呼び起こしました。

今回のコンサートにおいては、ベートーヴェン「交響曲第九番 (合唱付)」をはじめ、新たに、ブラームスの大曲「ドイツ・レクイエム」に取り組みられ全7曲の内3曲をご披露されるとのことです。

団員の皆様には、これまでのコンサートを成功に導いていただきました本コンサートの指揮者であり音楽監督の横島勝人様のご指導のもと練習に励まれ、これまでの皆様のひたむきなご努力と結束に敬意を表し、今回、初めての曲をコンサートにて披露されますことに、大きな期待を寄せるものであります。

このたびのコンサートの大成功をご祈念申し上げるとともに、コンサートを契機に団員間の音楽交流をさらに深めることにより、この地域の芸術文化活動がますます進展していきますことを心より願っております。

結びに、黒部で第九を歌う会の一層のご発展を心からお祈り申し上げますとともに、団員の皆様のご健勝ご多幸をご祈念申し上げ、お祝いのことばといたします。



黒部で第九を歌う会会長

島倉 敏夫

ごあいさつ

「黒部で第九を歌う会が誕生して四半世紀」。黒部の第九コンサートは1993年に始まり、25年かけて今回13回目となります。コラーレ開館前2回はYKK体育館で、ピアノ10台とピアニスト20人、合唱団189人、第4楽章だけの第九でした。それから25年の足跡を振り返りますと夢のようにも感じます。地域の文化発信を旗じるしにひたすら走ってきたのが実感です。アメリカ・メーコン市とオランダ・スネーク市から招いた市民交流第九、またメーコン遠征公演、根室市での市民交流第九など、多彩なコンサートの歴史を重ねてきました。第9回と10回は第九から離れて「モーツァルトのレクイエム」を歌いました。今回はさらに「いま新たな挑戦！ブラームスの大曲「ドイツ・レクイエム」を歌う」ことにしました。音楽監督指揮者横島勝人先生から「合唱するなら「合唱曲」に挑戦しなさい」とアドバイスがあったからです。「第九」は音楽史上比類なき偉大な曲ですがそれだけでは団員のマンネリ化を免れることはできない。よいレベルの合唱をするために難曲に挑戦するのが第一だとのお薦めに沿って決断しました。団員一同はいま心あらたに練習に励んでいます。

今日はベートーヴェンの第九全楽章と、ブラームスのドイツ・レクイエム全7曲のうち3曲をお披露目します。次回第14回に全曲歌います。なかなかの難曲であると実感しています。

私たちは「第九は全人類の友情と世界の平和を希求する崇高な精神性を持つ音楽だ」という言葉を信じて今日まで歩んできました。怒涛のような第九第4楽章を歌うと元気があふれ出ます。黒部の第九の歌声が広く地域の歌声に広がります。一方、ドイツ・レクイエムは静かに人生を語り合うように歌います。ブラームスは「人間レクイエム」と呼んで構わないと言ったそうです。

ご来場の皆さま、開催団体やご協賛いただいた企業団体そして演奏団体・合唱団の皆さまに心から御礼申し上げます。

それでは、ブラームスの出世作で「レクイエム」の概念を変えた「ドイツ・レクイエム」、そして比類なき大曲ベートーヴェンの第九交響曲をあわせてご鑑賞ください。第1部の「静」と第2部の「動」を感じ取っていただければ幸いです。



北日本新聞社社長

板倉 均

ごあいさつ

「第13回名水の里 第九コンサート」を開催できますことを、「黒部で第九を歌う会」をはじめ、音楽を愛する多くの皆さまと一緒に喜び、本日まで来場のお客さまに感謝申し上げます。

本コンサートは、これまでに黒部の姉妹都市であるアメリカ・メーコン市やオランダ・スネーク市の市民合唱団との共演、北海道根室市のオーケストラ・合唱団とのコラボレーションなど、音楽を通じたさまざまな交流事業を展開してきました。企画・運営をされる黒部で第九を歌う会の皆さまの熱意に心より敬意を表します。

今回、歌う会の合唱団は約90人。昨年3月に練習を開始されました。歌う会の音楽監督で指揮者の横島勝人さんが何度も黒部に足を運ばれ、歓喜のハーモニーを熟成してこられました。

このコンサートは毎回、地元で演奏される機会がない名曲がプログラムに組み込まれており、ファンの皆さまの楽しみとなっています。今回は、ブラームス「ドイツ・レクイエム」に挑戦します。合唱団結団式で横島音楽監督は「このレクイエムは死者の鎮魂だけでなく、人を励ます曲である」と解説されました。「第九」とともに、人生の喜びを高らかに歌う感動的な演奏になるものと確信しております。

おわりに、開催にご支援いただいた関係の皆さまに御礼申し上げ、本コンサートの成功を祈り、ごあいさつとします。



北日本放送代表取締役社長

横山 哲夫

ごあいさつ

「第13回名水の里 第九コンサート」が、このたび盛大に開催されますことをお祝い申し上げます。四半世紀にわたる開催を通して地域の活性化と音楽を愛する人々の交流に貢献しておられる「黒部で第九を歌う会」の皆さまの熱意に心より敬意を表します。同時に初回から主催の一員に加えさせていただいております弊社としても大変誇りに感じております。

名水の里コンサートではこれまでモーツァルトの「レクイエム」など「第九」以外の声楽作品にも精力的に取り組んでこられました。今回から新たにブラームスの大曲「ドイツ・レクイエム」の県内初演に挑戦されると聞いています。音楽監督で指揮を務める横島勝人さんはこの曲を「ベートーヴェンから受け継いだ音楽のエキスを詰まった素晴らしい作品であり、ブラームスの人生観・世界観を表現した最高傑作。現代を生きる人々を慰め励ます人生の指針」と評しておられます。横島さんの情熱的で繊細なタクトから生まれる「ドイツ・レクイエム」に期待が膨らみます。

「第九」の合唱では4人のソリストの内、ソプラノに平井香織さん、テノールに澤武紀行さんという県出身の2人の声楽家が担当します。去年3月の結団式から1年をかけて練習を重ねてきたおよそ90名の歓喜の大合唱が富山シティフィルハーモニーの管弦楽とともにコーラレのホールいっぱいに響きわたることでしょう。

おわりに、開催にあたりご支援をいただいた黒部市をはじめ関係各位に心より御礼を申し上げますとともに、コンサートのご成功をお祈りいたします。



Photo : Shigeto Imura

指揮 横島 勝人

Katsuto Yokoshima

大阪・高槻市出身。大阪音楽大学在学中より、高槻市音楽団などで指揮活動を展開し、1990年から7年間、ウィーンへ留学。98年にキリル・コンドラシン国際指揮者コンクールでベスト8に選ばれ、99年、ウィーン楽友協会ホールでのトーンクンストラ交響楽団との演奏会において、ベートーヴェン交響曲第9番を指揮してウィーンデビュー。2000年より小澤征爾音楽塾オペラプロジェクトⅠ、Ⅱ、Ⅲ、でアシスタント及び合唱指揮を務める。06年には、ウィーンとプラハでモーツァルト生誕250年「レクイエム・ガラ」特別演奏会でタクトを振り絶賛を博した。09年、11年、15年、ベルリン、プラハ、ローマの「国境なき合唱団 & ベルリン・シンフォニエッタ」チャリティー公演等でベートーヴェン「第九」を指揮している。ダイナミックさと繊細さを併せ持つ横島の指揮は、聴く者を、音楽そのものが持つ深い感動へと導く。温厚な人柄と情熱的かつ的確な指示によって、奏者の力量を引き出し、やがて聴衆と渾然一体化するその音楽は、多くの奏者・聴衆から熱い支持を得ている。08年には、松本市で「モーツァルト交響曲・全曲演奏会」の芸術監督に就任。15年、温泉地・宇奈月の「湯の街ふれあい音楽祭モーツァルト@宇奈月」の芸術監督に就任。理想は、ウィーンのように、地域全体が音楽を支え、楽しむ場となること。また、若手を含む音楽家の自立および団結を目的とする組織を立ち上げ、活動を展開中である。

文/高橋彩子

今までに指揮したオーケストラ

ハンガリー国立セゲド交響楽団/マーフ・ブダペスト交響楽団/オランダ放送管弦楽団/大阪フィルハーモニー交響楽団/名古屋フィルハーモニー交響楽団/新日本フィルハーモニー交響楽団/東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団/神奈川フィルハーモニー管弦楽団/大阪センチュリー交響楽団/岡山フィルハーモニック管弦楽団/広島交響楽団/関西フィルハーモニー管弦楽団/京都市交響楽団/奈良フィルハーモニー管弦楽団/東京佼成ウインドオーケストラ/大阪市音楽団 等

ゲストコンサートマスター



栗津 惇 ヴァイオリン

Makoto Awazu

東京都出身。桐朋学園大学卒業、同研究科修了。バイオリンを小森谷巧、藤崎功子、室内楽を藤井一興、豊田弓乃、藤原浜雄、東京クァルテットの各氏に師事。ウィーン国立音楽大学マスターコースに奨学生として参加、エドワード・チェンコフスキー氏に学び、特別賞受賞。ラフォルジュルネ・オ・ジャポン、IDRS国際音楽祭、イタリア文化会館「日本におけるイタリア」、宇奈月モーツァルト音楽祭などに出演。現在は東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団1stヴァイオリンフォアシェピラー。東京宝塚、東宝などのミュージカル公演にも力を入れている。その他客演首席、次席奏者として新日本フィルハーモニー管弦楽団などに参加。Quartet Papasのメンバーとして、ミニアルバム“papas's room”をiTunesにて配信。

平井 香織 ソプラノ

Kaori Hirai



国立音楽大学卒業。同大学院修了。二期会オペラスタジオ修了。「奥様女中」のセルビーナでオペラデビュー。以後「魔笛」夜の女王、「フィガロの結婚」伯爵夫人、「カルメル会修道女の対話」ブランシュ、「カルメン」ミカエラ、「夕鶴」つう等を演じる。殊に新国立劇場公演には数多く参加しており、「ラインの黄金」「ワルキューレ」「神々の黄昏」「ジークフリートの冒険」「トスカ」「なりゆき泥棒」「カルメン」「こうもり」「エレクトラ」「影のない女」「ピーター・グライムズ」「死の都」など、信頼も厚い。そのほか、小澤征爾指揮「ファウストの劫罰」（ベルリオーズ）、大野和士指揮「ヌシュ・ヌシ」（ヒンデミット）、ダン・エッティンガー指揮「復活」（マーラー）、準・メルクル指揮「ヴィーナスとアドニス」（ヘンツェ）、シャルル・デュトワ指揮「エレクトラ」（R.シュトラウス）等々で好演。近年では15年J.メルクル指揮「ダナエの愛」クサンテ、16年C.デュトワ指揮「カルメン」フラスキータ、17年P.インキネン指揮「ラインの黄金」ヴェルグンデに出演する活躍を見せている。またコンサートソリストとしては「レクイエム」「グローリア」「メサイア」「第九」「ミサ・ソレムニス」「カルミナ・ブラーナ」「ドイツ・レクイエム」等多数出演、いずれも高い評価を得ている。第56回NHKニューイヤーオペラコンサートに出演。国立音楽大学講師。二期会オペラ研究所講師。東京二期会会員。

Noriyuki Sawabu

テノール 澤武 紀行



射水市（旧新湊市）出身。桐朋学園大学音楽学部演奏学科声楽専攻首席で卒業。同大学研究科修了。国際ロータリー財団親善奨学生に抜擢され、オーストリア・ザルツブルグ・モーツァルト音楽院、ザルツブルグ大学人文学部音楽学専攻に留学、ブルックナー音楽院オペラ科卒業。モーツァルト作曲、歌劇「後宮からの逃走」の主役ベルモンテでヨーロッパオペラデビュー後、ベルリン国立歌劇場、ルーマニア国立歌劇場、ブラウンシュヴァイク国立歌劇場、リンツ州立歌劇場、メックレンブルク・フォアポムメルン州立劇場（テノールソリスト専属歌手契約）等、ヨーロッパ各国で演奏活動を精力的に行っている。また作曲家・編曲家としても活動をしており、特に「歌曲」の作曲・編曲は各方面から高い評価を得ている。地元富山では年数回の演奏会をはじめ、射水市立新湊中学校校歌や同校生徒会讃歌の作曲や、トークショー形式の講演など、クラシックだけにとらわれないジャンルを超えたユニークな演奏活動も展開している。2015年「第35回全国豊かな海づくり大会富山大会」、2017年「第68回全国植樹祭」において、天皇皇后両陛下のご臨席のもと、大伴家持の歌に自ら作曲した歌曲の御前演奏を務める。「第32回とやま賞」「平成27年度射水市市政功労賞」「2015年度北日本新聞芸術選奨」受賞。「友愛ドイツ歌曲コンクール」入賞。国際ロータリー財団2610地区新湊ロータリークラブ名誉会員。「ヴォーカルアンサンブルSAKURA Berlin」常任指揮者兼ヴォーカルコーチ、二期会会員。現在、ドイツ・ベルリン在住。

山下 牧子 メゾソプラノ

Makiko Yamashita



香川県出身。広島大学教育学部を経て東京藝術大学大学院。二期会オペラスタジオマスタークラス修了。優秀賞受賞。第1回東京音楽コンクール声楽部門第1位。第72回、第73回日本音楽コンクール共に第3位入賞。97年藝大定期・モーツァルト「皇帝ティートの慈悲」アンニオでオペラデビュー。「蝶々夫人」スズキ、「椿姫」フローラ、「フィガロの結婚」ケルビーノ、「こうもり」オルロフスキー等で注目を集める。05年6月二期会「椿姫」フローラ、10月二期会ニューウェーブオペラ「ジュリアス・シーザー」タイトル・ロールでは絶賛を浴びる。07年「コシ・ファン・トゥッテ」（宮本亜門演出・新制作、文化庁芸術祭大賞受賞）では魅力的なドラベッラ。10年日生劇場「カルメン」（日本語版）タイトル・ロール、16年9月東京二期会・ライブツィヒ歌劇場との提携公演「トリスタンとイゾルデ」（ヴィリー・テッカー演出）ブランゲーネ。コンサートでは、ベートーヴェン「第九」やバッハ「ロ短調ミサ」、ヘンデル「メサイア」、ヴィヴァルディ「グローリア」、モーツァルト「レクイエム」、デュルフレ「レクイエム」、ヴェルディ「レクイエム」、マーラー「復活」等のアルトソロとして国内主要オーケストラとも多数共演。13年、チョン・ミョンファン指揮のロッシーニ「スターバト・マーテル」でNHK交響楽団とも初共演、12月31日大晦日恒例のクラシックコンサート「ベートーヴェンは凄い！」全交響曲連続演奏会「第九」アルトソロ、NHKニューイヤーオペラコンサート、テレビ朝日「なんでも！クラシック」等々出演。二期会会員。

Kei Yonashiro

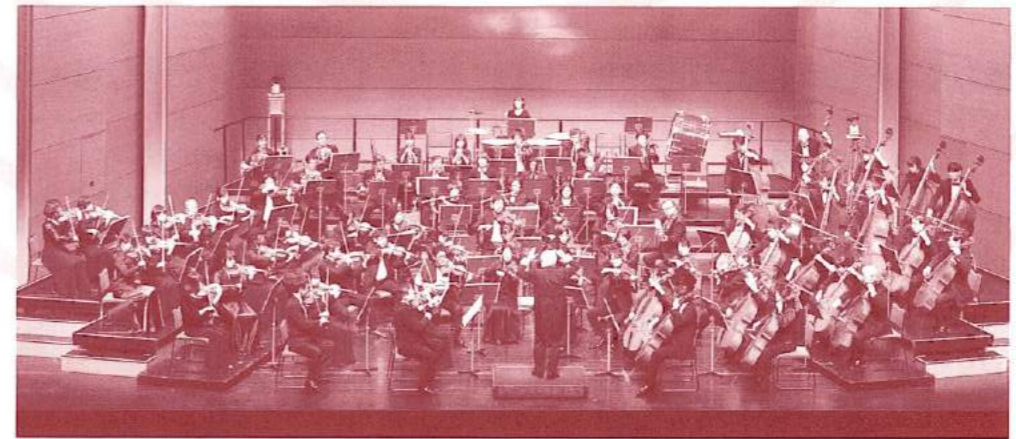
バリトン 与那城 敬



兵庫県立西宮高校音楽科、桐朋学園大学音楽学部ピアノ専攻卒業。同大学研究科声楽専攻修了。新国立劇場オペラ研修所第5期修了。平成17年度文化庁派遣芸術家在外研修員としてミラノへ留学。第16回マリオ・デル・モナコ国際声楽コンクール第3位（1位なし）入賞。第18回奏楽堂日本歌曲コンクール第1位。06年東京二期会「コシ・ファン・トゥッテ」（芸術大賞受賞）グリエルモで二期会デビュー。その後も小澤征爾特別コンサート「カルメン」エスカミリオ、「道化師」（読響）シルヴィオ等で高い評価を得る。東京二期会「エウゲニー・オネーギン」オネーギン、トヨタコミュニティコンサート「ラ・ボエーム」マルチェッロ、09年2月、横須賀芸術劇場オペラ「グイドーとイニエース」イニエース、10年「NHKニューイヤーオペラコンサート」、新国立劇場オペラでも「愛の妙薬」ベルコレ、「鹿鳴館」影山悠敏伯爵、「道化師」シルヴィオ等に出演。最近では北とひあ国際音楽祭「ドン・ジョヴァンニ」（三菱UFJ信託音楽賞奨励賞）タイトル・ロールで出演し公演を成功に導く。08/09年バッハ・コレギウム・ジャパンのメンバー及びソリストとして国内外の公演に参加。バッハ「マタイ受難曲」、ヘンデル「メサイア」、フォーレ「レクイエム」、マーラー「大地の歌」、ベートーヴェン「第九」（読響）等で活躍。2013年3月ファーストアルバム「FIRST IMPRESSION」をリリース。二期会会員。

Photo : Kei UESUGI

富山シティフィルハーモニー管弦楽団



1983年結成。創立35周年を迎える。以来、県民に愛されるオーケストラを目指して音楽活動を展開している。

団員は現在約100名で、週1回の練習には県内及び県外から活動拠点である富山市民芸術創造センターに集まってくる。練習はアットホームな雰囲気、団員の参加率は非常に高い。団員の中には子育て真っ最中という人も多いため、託児室を設けて活動をサポートしている。

年3～4回の演奏会を実施しており、自主演奏会では若い世代の方が来場しやすいよう高校生以下無料で開催している。

平成24年に富山県が制作した久石譲作曲の富山県ふるさとの歌「ふるさとの空」のCD録音において、管弦楽版の演奏を担当。平成25年5月に開催された、置県130年記念式典においても、演奏を披露した。

平成25年度北日本新聞地域社会賞受賞。平成27年富山ロータリークラブ「富山の元気づくり賞」受賞。

メンバー

1st Violin	栗津 惇 (コンサートマスター)	中川 洋司	稲垣 祐香	塩田 博美	田中 緑	田辺 悠莉	辻 久直
	仲井 美賀	名執 純子	廣田 弘美	又場 龍大	宮本 範子		
2nd Violin	朝木 晴美	河原 毅	塩崎 章子	田村 瑠子	中上 祐花	沼田 典子	
	原 朝子	松下 亮	吉澤 歩希	吉澤 真弓			
Viola	上田香奈恵	大森 祐子	河原千佳子	久保悠希乃	篠原美奈子	中 秀晃	
	早川ありさ	藤井 優哉	松島真二郎	安村 美佳			
Cello	岡田 彰	新町 栄一	館野 祥子	西谷 英輔	年代 拓夢	能村 典未	
	堀田 五月	松島健一郎	山崎 典子	山下 瑠子			
Contrabass	石川 綾	大西 遼	金森 大樹	長谷 英寿	藤島 晃彦	米田 篤弘	
Flute	石田 孝弘	伊藤ひでみ	摺出寺敬子	竹森 恵美	吉澤美和子		
Oboe	北岡 明	北岡 佳苗	保科 浩一				
Clarinet	大田 昌子	大西 栞	佐々木桂治	古川 友紀			
Fagotto	牛嶋 裕	篠崎 秀一	長倉里佳子	永原 千春	永原 秀樹		
Horn	上野 祐子	川添 等	坂井 禎	宅美 俊史	野崎 美保		
Trumpet	荒野 晃代	古井 清紀					
Trombone	岩城 悟	大田 和樹	長倉 久喜				
Percussion	女川 好野	高本 篤志	野替亜紀子	花房 清直			

Chorus 黒部で第九を歌う会合唱団

ソプラノ	生津江昭子 角本 睦子 小森みどり 中島 弘美 藤村千賀子 山腰くるみ	上田 優子 兼平 朋子 島 加代子 長田 雅子 間部 澄子 山本 賢美	魚津 昭子 河合 弘子 千先まさ枝 西尾 貴子 村田美紀子 結城美喜子	大田ゆか子 川尻久美子 高倉 隆子 能沢 一代 村椿 尚美 吉見 靖子	小熊 房江 轡田奈々子 寺島 紀子 晴枝 富子 森山 静子
------	--	--	--	--	---

アルト	赤川 知子 荻野 妃奈 砂坂久美子 中田 勝代 松村美智代	朝野 淳子 奥村 祐子 鷹田由美子 花岡 光子 湊屋真津代	泉 邦子 上坂由美子 立野 富子 舟川 敦子 森内 正巳	板井 章子 鮫澤由加利 道用 悦子 古田 美穂 吉崎むつ子	井波 咲子 島瀬 節子 得能眞智子 前田富美子
-----	---	---	--	---	----------------------------------

テノール	穴山 颯 植木 真人 鷹田 利治 浜田 勝宏 宮崎 昌訓	井内 学 上田 健治 田中 哲彦 広田 克美 米澤憲二郎	石川 幹夫 上田 洋一 南保 弘幸 福島 光繁	石塚 修一 大崎 晴夫 西田 真一 松倉 正機	伊東 景治 太田 紘子 八川 進 松原 英樹
------	--	--	----------------------------------	----------------------------------	---------------------------------

バス	鍛冶 哲郎 広田 新伍 米田 幹雄	小西 由郎 藤井 実 米田隆太郎	島倉 敏夫 松谷 茂樹	田中 義郎 湊 千洋	長谷川光一 宮本 舜也
----	-------------------------	------------------------	----------------	---------------	----------------

合唱指導 三井 香

合唱ピアノ伴奏 間部 栄司 法原留美佳

楽しく一緒に歌いましょう

合唱団員募集

- ・住所、年齢、性別、合唱経験の有無を問いません。
- ・次回（2020年春予定）のコンサートに参加できる方。
- ・曲目はブラームス作曲ドイツ・レクイエム全曲。

練習会場：コラーレ マルチホール

練習日程：月2回程度を予定（基本的に金曜日午後7時30分～午後9時）

初回 2018年5月25日（金）



お申込み、お問合せ：黒部で第九を歌う会事務局（☎0765-57-1201）

ドイツ・レクイエム作品45番 (Ein Deutes Requiem, Op.45)

第1曲

Selig sind die da Leid tragen,
denn sie sollen getröstet werden.

祝福されたるは、悲しみを負う人。
彼らは慰められるのですから。
(マタイ福音書5：4 「山上の垂訓」の一節)

Die mit Tränen säen, werden mit
Freuden ernten.

涙とともに種を蒔く人は、喜びの歌とともに刈り入れる。
(詩編126：5)

Sie gehen hin und weinen und tragen
edlen Samen, und kommen mit Freuden
und bringen ihre Garben.

種の袋を背負い泣きながら出て行った人は、
束ねた穂を背負い喜びの歌を歌いながら帰ってくる。
(詩編126：5, 6)

第4曲

Wie lieblich sind deine Wohnungen,
Herr Zebaoth!

万軍の主よ、あなたのいますところは、
どれほど愛されていることでしょうか。(詩編84：2)

Meine Seele verlangt und sehnet
sich nach den Vorhöfen des Herrn;
mein Leib und Seele freuen sich
in dem lebendigen Gott.

主の庭を慕って、私の魂は絶え入りそうです。
命の神に向かって、私の身も心も叫びます。
(詩編84：3)

Wohl denen, die in deinem Hause
wohnen, die loben dich immerdar.

いかに幸いなことでしょうか、あなたの家に住むことができるなら、
まして、あなたを賛美することができるなら (詩編84：5)

第7曲

Selig sind die Toten, die in dem
Herrn sterben, von nun an.
Ja, der Geist spricht, daß sie ruhen
von ihrer Arbeit; denn ihre Werke
folgen ihnen nach.

「今から後、主に結ばれて死ぬ人は幸いである。」
“霊”も言う。
「然り、彼らは労苦を解かれて、安らぎを得る。
その行いが報われるからである。」
(ヨハネの黙示録14：13)

Program Note 曲目解説

ブラームス その生涯とドイツ・レクイエム

ヨハネス・ブラームス(1833-1897)はドイツ・ハンブルクの貧しい音楽家の家庭に生まれました。ベートーヴェンが亡くなって6年後です。父から音楽の手ほどきを受け早くから楽才を示し10歳でピアニストデビューしましたが20歳ごろまでは不遇で音楽家として無名でした。しかし20歳の1853年9月にシューマン夫妻との運命的出会いがあり、シューマンがブラームスの卓越した音楽的才能を見抜き、「音楽新報」誌で紹介した事がきっかけになって、一躍ブラームスは著名音楽家として時の人となりました。そのシューマンが3年後に急死し、その後ブラームスはレクイエムの創作を始めたのですがなかなか進まなくて「ドイツ・レクイエム」として完成したのは1868年35歳の年でした。初演で大成功を収め

それがブラームスの出世作となりました。

ブラームスは人づきあいが下手で、潔癖性で、作曲後も不満足な曲は廃棄してしまうため若いころの作品は残っていません。しかし非常に勉強家であり、ハイドゥン、モーツァルト、ベートーヴェンを非常に尊敬し研究し尽くしていました。ベートーヴェンの第九のようなテンションの高い音楽も知り尽くしていました。19世紀後半のロマン主義を代表する作曲家のひとりですが、同時に古典主義的な形式を重視するドイツ音楽の伝統の継承者でもあるといえます。

「レクイエム」は一般的にはキリスト教カトリックで死者の霊を慰め神に祈る曲で、ラテン語ですが、ブラームスのドイツ・レクイエムはルター訳の聖書からブラームス自身が選んだ歌詞でありドイツ語です。教会で歌う音楽でなく、演奏会用に作曲された曲です。宗教的音楽というよりも現代を生きている人を慰め励ますいわば人生の指針を示す音楽ともいえます。(T.S)



1819年(49歳)のベートーヴェン
J・シュティラー作の油彩画

歡喜の歌

O Freunde, nicht diese Töne!
Sondern laßt uns angenehmere
anstimmen, und freudvollere.

おお友よ このような調べでなく
もっと心地よい喜びに満ちた歌を

Freude, schöner Götterfunken, Tochter aus Elysium,
Wir betreten feuertrunken, Himmlische, dein Heiligtum!

歡喜よ 美しい神々の火花よ 楽園からの乙女よ
われわれは感激してあなたの天上の神殿に足を踏み入れる

Deine Zauber binden wieder, was die Mode streng geteilt;
Alle Menschen werden Brüder, wo dein sanfter Flügel weilt.

あなたの魔力は世間が厳しく分け隔てるものを再び結びつけ
すべての人々はあなたの優しい翼の下で 兄弟となる

Wem der große Wurf gelungen, Eines Freundes Freund zu sein,
Wer ein holdes Weib errungen, Mische seinen Jubel ein!
Ja, wer auch nur eine Seele sein nennt auf dem Erdenrund!

一人の友を真の友とするという幸運に恵まれた者
また優しい妻を持つことができた者はともに喜びの声をあげよ
ただ一人でもこの世で友と呼べる人のいる者も!

Und wer's nie gekonnt, der stehle,
Weinend sich aus diesem Bund!

しかしそれができなかった者は 涙とともにこの集いから去るのだ

Freude trinken alle Wesen, an den Brüsten der Natur;
Alle Guten, alle Bösen Folgen ihrer Rosenspur

すべてこの世に生を受けた者は 自然の乳房から喜びを飲み
すべての善人も悪人も 自然のバラの道をたどる

Küsse gab sie uns und Reben, Einen Freund, geprüft im Tod;
Wollust ward dem Wurm gegeben, Und der Cherub steht vor Gott.

喜びはわれらに口づけとぶどう酒と 死の試練をも恐れぬ友を与える
虫にも喜びは与えられ そして天使は神の前に立つ!

Froh, wie seine Sonnen, fliegen durch des Himmels prächt'gen Plan,
Laufet! Brüder, eure Bahn, freudig, wie ein Held zum Siegn.

楽しそうに太陽と多くの星が壮大な天の軌道をめぐるように
走れ 兄弟たちよ あなた方の道を! 喜び勇んで勝利に向かう 英雄のごとく

Seid umschlungen, Millionen! Diesen Kuß der ganzen Welt!
Brüder! überm Sternenzelt muß ein lieber Vater wohnen.

わが抱擁を受けよ 幾百万の人々よ この口づけを全世界に
兄弟たちよ! 星空の彼方に 愛する父は必ずや住みたもう

Ihr stürzt nieder, Millionen?
Ahnest du den Schöpfer, Welt?
Such' ihn überm Sternenzelt!

ひざまづくのか 幾百万の人々よ
創造主の存在を感じるのか 世界よ
彼を天上に求めよ 星空のかなたに

Über Sternen muß er wohnen.

創造主は 必ず住みたもう

Program Note 曲目解説

交響曲「第九」

——ベートーヴェンの素顔と

第九の背景——

ベートーヴェン(1770-1827)はJ. S. バッハ、モーツァルトと並んで音楽史上きわめて重要な作曲家であることは言を俟ちません。日本では「楽聖」と呼ばれています。その作品からベートーヴェンは古典派音楽を集大成し、ロマン派のさきがけとされています。そして一生を通じて貧困、失恋、耳疾、肉親の問題など様々な苦しみと闘いながらも、音楽史上に燦然と輝く数多くの傑作を創造しました。苦渋の生涯から生まれたそれらの音楽は人々の心に生きる勇気を与えます。20歳代後半から持病の難聴が徐々に悪化し、32歳の頃にはほとんど聴力を失ってしまいました。音楽家として命ともいえる聴覚を失って死にも等しい絶望感に苛まれながら1802年には『ハイリゲンシュタットの遺書』をしたため、自殺も考えましたが思いとどまり、苦悩の中から自分の天命に目覚めました。彼自身の芸術(音楽)への強い情熱をもってその苦悩を乗り越え再び生きる意欲を勝ち得て新たな創作の道へ進んだのです。

40歳(1810年)頃からの約15年はベートーヴェンにとっての「傑作の森」といわれる時期でした。晩年の弦楽四重奏曲、ピアノソナタ、『ミサ・ソレムニス』『交響曲第9番』など後期の代表曲が次々とつくられました。それらは古典派の様式美とロマン主義を高い次元で両立させています。音楽の理想的な姿として以後の作曲家に多大な影響を与えました。

1824年5月7日、54歳のベートーヴェンの生涯の大作第九交響曲がウィーンの「ケルトナートーア劇場」で初演され、聴衆の熱狂的感動を巻き起こしました。病身・貧苦・孤独は変わりませんが、しかし彼は勝利者にな

ったのです。自己の運命に対する勝利者、自己の苦悩に対する勝利者になったのです。O Gott über alles! 第九の成功は彼の心の中に輝かしい勝利の刻印を残しました。

1827年2月、56歳の春、死の直前に「どんな不幸でも何らかの幸い(解放)を伴ってくるものだ」と友人に話したと記録に残っています。

ベートーヴェンの生涯を一貫して流れている思想は、「人間精神の解放」だといえます。自主独立の人間精神は何ものにもまして彼にとっては尊いものでした。彼は音楽家の第一人者をはるかに超えた存在だといわれています。「苦悩を経て歓喜へ」(Durch Leiden Freude)これは1815年10月10日付エルデーディ夫人宛ての手紙の言葉です。聴く人の心に伝わる音楽を!(T.S)



ケルトナートーア劇場 1824年5月7日第九初演の会場となった歌劇場。会場は大人り満員で大衆から熱狂的喝采を受けた。跡地には現在ホテル・ザッハーが建っている。

黒部第九友の会会員

石川 幹夫	第九を歌う会理事	上坂由美子	第九を歌う会	南保 弘幸	第九を歌う会監事
石塚 修一	第九を歌う会	小西 由郎	第九を歌う会	八川 進	第九を歌う会
泉 邦子	第九を歌う会	小森みどり	第九を歌う会	花岡 光子	第九を歌う会
板井 章子	第九を歌う会	鮫澤由加利	第九を歌う会理事	晴枝 富子	第九を歌う会
生津江昭子	第九を歌う会	島 加代子	第九を歌う会	広田 克美	第九を歌う会
伊東 景治	第九を歌う会副会長	島倉 敏夫	第九を歌う会会長	舟川 敦子	第九を歌う会
岩井 恵澄	(福)あいじ福祉会理事長	島瀬 節子	第九を歌う会	松村美智代	第九を歌う会
岩井 清美	第九を歌う会理事	高岡 尚子	第九を歌う会理事	間部 澄子	第九を歌う会
上田 優子	第九を歌う会	高倉 隆子	第九を歌う会	湊 千洋	第九を歌う会
魚津 昭子	第九を歌う会	鷹田 利治	第九を歌う会理事	湊屋真津代	第九を歌う会
太田 紘子	第九を歌う会	立野 富子	第九を歌う会	宮崎 昌訓	第九を歌う会理事
小熊 房江	第九を歌う会	辻 和夫	第九を歌う会副会長	村田美紀子	第九を歌う会
奥村 祐子	第九を歌う会	道用 悦子	第九を歌う会理事	森内 正巳	第九を歌う会
角本 睦子	第九を歌う会	得能真智子	第九を歌う会	森山 静子	第九を歌う会
兼平 朋子	第九を歌う会	中島 弘美	第九を歌う会	米田 幹雄	第九を歌う会理事
河合 弘子	第九を歌う会	中田 勝代	第九を歌う会		(五十音順・敬称略)
川尻久美子	第九を歌う会理事	長田 雅子	第九を歌う会		

黒部で第九を歌う会指導者

| 音楽監督 | 横島 勝人 (指揮者)

| 合唱指導者 | 三井 香

黒部で第九を歌う会役員

| 会長 | 島倉 敏夫

| 副会長 | 松倉 正機 上田 洋一 伊東 景治 辻 和夫

| 理事 | 石川 幹夫 岩井 清美 川尻久美子 鮫澤由加利 高岡 尚子

鷹田 利治 道用 悦子 能登 恭子 藤井 実 宮崎 昌訓

米田 幹雄

| 監事 | 南保 弘幸 鮫澤 祐二 ((公財)黒部市国際文化センター事務局長)

| 顧問 | 堀内 康男 宮腰 光寛 大野 久芳 横山 栄 篠崎 秀一

能勢 実 三井 香 三井 適夫 武藤 憲夫

黒部で第九を歌う会 名水の里コンサートのあゆみ

設立：1992年（平成4）6月30日

	開催日	場所	合唱団員	指揮者・ソリスト	オーケストラ	開催テーマ	
第1回	1993年 H5.5.30	YKK体育館	第九を歌う会 189名	土井 浩 岩井理花 福井 敬	岩森美里 高橋啓三	国際ピアノデュオ協会 20名 "名水の里に響け！ 喜びのハーモニー"	
第2回	1994年 H6.6.12	YKK体育館	第九を歌う会 155名	ラヨシュ・バロク 岩井理花 五十嵐修	岩森美里 高橋啓三	富山県青少年オーケストラ・メトロポリタン・ユースシンフォニー 国際交流音楽祭 黒部市制40周年記念 (カラーレオーブンプレイイベント)	
第3回	1996年 H8.1.14	カラーレ	第九を歌う会 138名 メーコン市民合唱団 16名	十束尚宏 岩井理花 五十嵐修	岩森美里 高橋啓三	東京シティ・フィル ハーモニック管弦楽団 国際交流音楽祭 (カラーレオーブンプレイイベント)	
第4回	1997年 H9.2.9	カラーレ	第九を歌う会 137名 スネーク市民合唱団 16名	十束尚宏 岩井理花 成田勝美	青山智英子 高橋啓三	東京シティ・フィル ハーモニック管弦楽団 国際交流音楽祭	
第5回	1998年 H10.4.18	カラーレ	第九を歌う会 135名 メーコン市民合唱団 16名	十束尚宏 岩井理花 五十嵐修	永井和子 勝部 太	群馬交響楽団 くろべ「はな」まつり 国際交流音楽祭	
第6回	2002年 H14.1.14	カラーレ	第九を歌う会 115名	エイドリアン・グナム 岩井理花 五十嵐修	安念千重子 大澤 建	富山シティフィルハー モニーマニーマニ管弦楽団 国際交流音楽祭	
米国 メーコン市 特別公演	2003年 H15.3.22	米国 メーコン グランドオペラハウス	メーコン市民合唱団 第九を歌う会 37名	エイドリアン・グナム 岩井理花 メーコン・ソリスト	メーコンシンフォニー オーケストラ	黒部市メーコン市姉妹都市交流 Macon cherry blossom festival	
第7回	2004年 H16.11.7	カラーレ	第九を歌う会 119名 スネーク市民合唱団 8名 根室市 2名	エイドリアン・グナム 岩井理花 五十嵐修	坂口直子 末吉利行	富山シティフィルハー モニーマニーマニ管弦楽団 黒部市制50周年記念 北日本新聞創刊120周年記念	
第8回	2006年 H18.12.17	カラーレ	第九を歌う会 115名	横島勝人 岩井理花 伊達英二	坂口直子 水野賢司	富山シティフィルハー モニーマニーマニ管弦楽団 合唱指導：浅岡節夫・三井香	黒部市合併記念事業
第9回	2008年 H20.12.14	カラーレ	第九を歌う会 モツレク合唱団 115名	横島勝人 岩井理花 西村 悟	長谷川忍 谷 友博	富山シティフィルハー モニーマニーマニ管弦楽団 合唱指導：内山太一	モーツァルトレクイエム特別公演
第10回	2010年 H22.11.28	カラーレ	第九を歌う会 モツレク合唱団 108名	横島勝人 岩井理花 内山信吾	日野妙果 谷 友博	富山シティフィルハー モニーマニーマニ管弦楽団 合唱指導：内山太一	モーツァルトレクイエム特別公演 第10回記念コンサート
第11回	2013年 H25.5.19	カラーレ	第九を歌う会 112名	横島勝人 岩井理花 井ノ上了吏	菅野祥子 谷 友博	富山シティフィルハー モニーマニーマニ管弦楽団 合唱指導：内山太一	黒部の第九 20周年記念コンサート
第12回	2015年 H27.4.26	カラーレ	第九を歌う会 141名	横島勝人 岩井理花 望月哲也	小林由佳 成田博之	富山シティフィルハー モニーマニーマニ管弦楽団 合唱指導：内山太一、 三井 香、中田勝代	北陸新幹線開業記念 黒部・根室姉妹都市交流事業
根室市 特別公演	2016年 H28.8.28	根室市 総合文化会館	第九を歌う会 53名 根室市民合唱団 85名	第九：須貝雄太郎 北国讃歌等：池本 昇 南出 薫 小笠原一規	岩井理花 内山太一	岩井理花 内山太一	根室市・根室市姉妹都市 提携40周年記念事業
第13回	2018年 H30.4.22	カラーレ	第九を歌う会 87名	横島勝人 平井香織 澤武紀行	山下牧子 与那城敬	富山シティフィルハー モニーマニーマニ管弦楽団 合唱指導：三井 香	黒部の第九 25周年記念コンサート

皆さまのあたたかいご支援により、
第九コンサートを開催することができました。

(株)四十物昆布	黒部石油販売(株)	平野工務店(株)
生地蒲鉾(有)	黒部中央ロータリークラブ	北星ゴム工業(株)
うめかわ歯科クリニック	黒部ロータリークラブ	(株)ホクペレ
(株)エムエスピー	桜井交通(株)	(株)ホテルアクア黒部
おおの衣料店	(有)新徳興業	(株)堀内商会
小熊歯科医院	生地温泉たなかや	松倉建設(株)
(株)カーフィールド	(株)辻鉄工	みどり歯科医院
(有)カーメンテナンス朝倉	東洋ゼンマイ(株)	(株)山口技研
カフェ モーツァルト	(株)ナカノ	横山冷菓(株)
銀盤酒造(株)	(有)はなと	吉枝工業(株)
黒部市芸術文化協会	パレス扇寿	吉沢工業(株)
(株)黒部重機	(株)飯作組	(株)吉田商会

(株)植万 黒部市三日市3646 ☎0765-52-0229	川端鐵工(株) 黒部市生地芦区247 ☎0765-56-8163	きょうクリニック 黒部市北野48-2 ☎0765-57-0015
共和土木(株) 黒部市荒俣1600 ☎0765-57-1176	中西グループ協同組合 黒部市新牧野103 ☎0765-54-5880	松倉呉服店 黒部市三日市3117 ☎0765-54-0529
丸中水産(株) 黒部市生地芦崎字下浦330 ☎0765-56-9138	(株)ミツイ 黒部市中新398 ☎0765-52-0092	(株)YKKツーリスト 黒部市飯沢6120-5 ☎0765-54-8686
黒部エムテック(株) 黒部市吉田200 ☎0765-54-8665	黒部クリーン(株) 黒部市北野47-2 ☎0765-52-0047	桜井建設(株) 黒部市新町1 ☎0765-52-1200
第一建設(株) 黒部市飯沢1077 ☎0765-56-8125	(株)ニイカワポータル 黒部市新牧野152 ☎0765-54-5355	北陸機材(株) 富山市綾田町1-6-22 ☎076-441-5411

黒部金融協会

北陸銀行黒部支店 富山第一銀行黒部支店
富山銀行黒部支店 にいかわ信用金庫桜井支店
黒部市農業協同組合

黒部ライオンズクラブ

黒部市新牧野103 ファーストビル2F
☎0765-54-1026

(株)す가의印刷

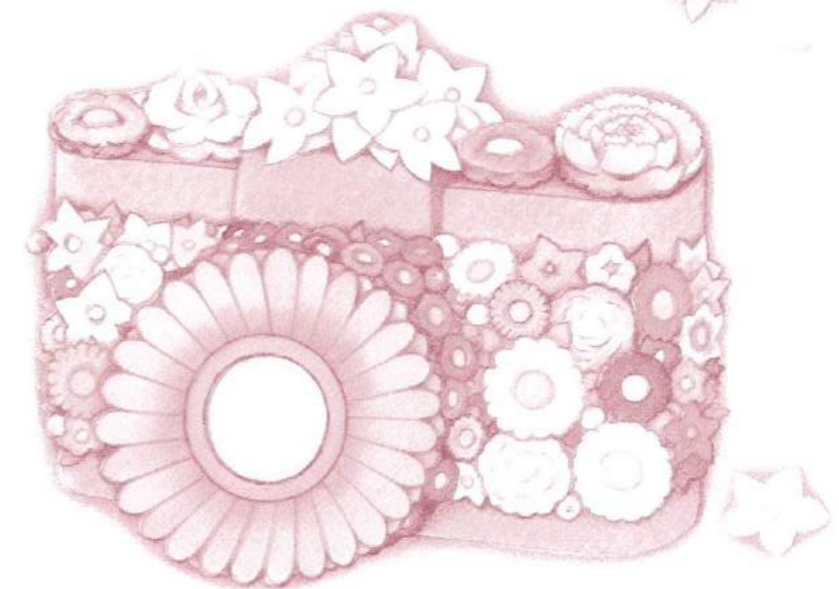
黒部市若栗2630 ☎0765-54-0112

北日本新聞社

富山市安住町2-14 ☎076-445-3300

まなざし、ひとつ。

見つめる先は、
豊かな明日をかなえる、
ものづくり。
小さな発見から、
大きな笑顔が生まれます。



 YKK株式会社